

～ 中堅・中小企業経営者のための ～  
第7回これだけは知っとかナイト・スクール

# 数字に表れない独自能力の活用で 企業価値を伸ばす！

～ 知的資産経営報告書から ～

はやしコンサルティング  
代表 林 浩史

## アジェンダ

1. 独自能力をしっかりと認識する
2. 独自能力はいかに蓄積され、活用してきたか
3. 蓄積された独自能力を維持し、強化していく
4. 独自能力を磨き続けるために
5. まとめ
6. ワーク:「独自能力の把握、ストーリー創り」

## アイスブレイク

強み、弱み

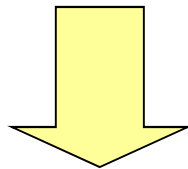
- ① あなたの会社の独自能力は何ですか？
- ② 経営幹部、従業員（部下）はその独自能力を認識して、行動できていますか？
- ③ その独自能力は外部の関係者が理解している独自能力と一致していますか？

## 1. 独自能力をしっかりと認識する

**独自能力は整理されていない？！**

⇒ 規模の大小、社歴の長短に関わらず発生している。

しかし



大企業、外資系企業の場合	→ 致命傷にならない
中小企業、ベンチャー企業の場合	→ 致命傷になる

すなわち、企業の価値が正確に伝わっていない要因といえる。

## 1. 独自能力をしっかりと認識する

中小企業、ベンチャー企業の場合 → 致命傷になる

その理由は

- ① 中小企業、ベンチャー企業に与えられている優位性に影響を与えてしまうから → (意思決定の) スピード
- ② 取るべき戦略に影響を与えてしまうから → (経営資源が少ない中で) 勝てる生存領域
- ③ 1社だけでできることは限られているから → (協働するための) 外部へのPR

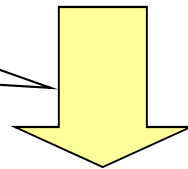
## 1. 独自能力をしっかりと認識する

中小企業、ベンチャー企業にとって、

**独自能力が整理しにくい原因は**

→ 本業が忙しくて整理してられない、といわれることが多い

.....のですが、



これは、中小企業、ベンチャー企業の独自能力の特徴が影響しているのです。

その独自能力の大部分が、

**目に見えない(数字に表れない)経営資源**となっているため

バランスシート

## 1. 独自能力をしっかりと認識する

例えば、

- 製造段階での「すりあわせ」による製品細部へのこだわり（技術・ノウハウ）
- レベルの高い従業員のモチベーションを維持、向上させる社風（組織文化・組織の柔軟性）
- 中長期的な取引関係によって築かれた信頼やブランド力（対外的関係、顧客ロイヤリティ）

これらはバランスシート上には記載されない

# 自己紹介

---



株式会社バリューシンク

代表取締役 林 浩史

〒530-0012 大阪市北区芝田1-4-17-318

TEL:06-6375-1751 FAX:020-4663-2755

携帯電話:090-8655-4859

E-mail: hayashi@valuethink.co.jp

URL: <http://www.valuethink.co.jp>

- 林 浩史(はやし ひろし)  
株式会社バリューシンク 代表取締役  
100年企業創り合同会社 共同経営者
- 資格  
中小企業診断士、(財)生涯学習開発財団認定コーチ
- 経営コンサルティング  
知的資産経営、事業再生支援(事業DD)、創業支援
- 人財能力活性化支援  
ビジネスコーチング、役割行動特性分析(DISC)  
業務改善研修、モチベーション研修
- 京都大学工学部電気工学科卒業
- 職歴  
西日本旅客鉄道株式会社  
IT関連ベンチャー(物流バックヤードシステム)  
湘南島津株式会社
- 2005年、はやしコンサルティング創業
- 2007年、100年企業創り合同会社設立
- 2009年、株式会社バリューシンク設立